

穎原退藏著作集

別卷

穎原退藏著作集

別卷

穎原退藏著作集 別巻

定価 三八〇〇円

昭和五十九年三月十五日印刷
昭和五十九年三月二十五日発行

著者

穎原退藏

発行者

鳴中鵬二

印刷者

山田博

発行所

中央公論社

東京都中央区京橋二一八一七
振替東京二二三四

◎一九八四 檢印廢止
ISBN 4-12-401201-2

目 次

索 引

書名・人名・事項索引

初句索引

語句索引

年 譜

年 譜

穎原退藏著作集總目次

後 記

索

引

凡例

「書名・人名・事項索引」は、表音に従い、五十音順に配列した。

人名は、一般的な通称をもって本見出しとし、別名・字・号などは捨て見出として掲出、本見出しを参照させた。なお、それらの別称は、本見出しの下に「」をもって掲出し、必要に応じて（）内に補注をほどこした。

書名は、「」に入れ、一般的な呼称・表記に従つて本見出しにまとめた。書名に冠した角書は、これを読ます、たとえば、「誹諧武王川」は「む」の項に掲げたが、この場合、角書は、便宜的に縦組として書名の下にへ＼に入れて記した。ただし、角書から読む呼称のほうが一般的な場合は、それに従つた。たとえば「新町をかし男」を「し」の項に入れただごとくである。別称は捨て見出として掲出、本見出しを参照させ、本見出しの下に「」をもって示し、適宜補注（）を加えた。また、本著作集の論文中に記述された時点で今日のごとき呼称の定まらないかったものは、論文中の呼称を本見出として、適宜、捨見出しない時は補注（）を加えた。書名の頭に「統」とある場合は、本書名に統記することなく、別項目とした。

初句索引は、本巻の第六巻・第七巻巻末の「初句索引」に、第八巻の発句の初句を併せたものである。新仮名遣に従い、五十音順に配列した。

語句索引は、第十五巻巻末の語句索引に準じ、第十六巻の各難語考の掲出語彙と、他巻の難語彙につけられた注解との、検索の便に供したものである。新仮名遣に従い、五十音順に配列した。
一頁数の上に付した数字①……㉚は巻数を示す。

書名・人名・事項索引

あ

- 「赤鳥帽子」
〔十六〕
 「あか冠」
〔十七〕
 「あかし」
〔十八〕
 「相模」
〔十九〕
 「愛護初冠女筆始」
〔二十〕
 「藍染川」
〔二十一〕
 「愛染毬八代物語」
〔二十二〕
 「あふ夜」
〔二十三〕
 「青かけ」
〔二十四〕
 青木宗忠
〔二十五〕
 「青木宗忠追善独吟百韻」
〔二十六〕
 青木齋水
〔二十七〕
 「青葛葉」
〔二十八〕
 「青すだれ」
〔二十九〕
 「あをたづら」
〔三十〕
 「青とくぎ」
〔三十一〕
 「青根が峰」
〔三十二〕
 「青根が峰誹諧問答抄」
〔三十三〕
 「青ひさご」
〔三十四〕
 青木本
〔三十五〕
 「青蓮」
〔三十六〕
 「あかゑぼし」
〔三十七〕
 「秋廻閑羅春」
〔三十八〕
 「秋の声」
〔三十九〕
- 「赤鳥帽子」
〔十六〕
 「秋の末野」
〔十七〕
 「秋の月」
〔十八〕
 「前句附集」
〔十九〕
 「明石人丸社法染獨吟百韻」
〔二十〕
 「赤染衛門栄花物語」
〔二十一〕
 「あがたの三月四月」
〔二十二〕
 「赤椿」
〔二十三〕
 「茜堀」
〔二十四〕
 「あがほとけ」
〔二十五〕
 赤本
〔二十六〕
 「秋田扇」
〔二十七〕
 「秋の名古里」
〔二十八〕
 「秋の日 尾張五歌仙」
〔二十九〕
 「秋のねざめ」
〔三十〕
 「秋の坊」
〔三十一〕
 「秋のまくら」
〔三十二〕
 「秋の水」
〔三十三〕
 「秋の水」
〔三十四〕
 「露川追悼集」
〔三十五〕
 「秋のゆふべ」
〔三十六〕
 「秋の夜」
〔三十七〕
 「あきの別れ」
〔三十八〕
 「秋日和」
〔三十九〕
 「あき日より」
〔四十〕
 「秋山家」
〔四十一〕
 「商人家職訓」
〔四十二〕
 「商人軍配団」
〔四十三〕
 「商人世帯形氣」
〔四十四〕
 「商人法身業鏡」
〔四十五〕
 「阿久多川」
〔四十六〕
 「あくた物語」
〔四十七〕
 「あくちの判官」
〔四十八〕
- 「秋の調」
〔四十九〕
 「秋の調」
〔五十〕
 「秋の調」
〔五十一〕
 「秋の調」
〔五十二〕
 「秋の調」
〔五十三〕
 「秋の調」
〔五十四〕
 「秋の調」
〔五十五〕
 「秋の調」
〔五十六〕
 「秋の調」
〔五十七〕
 「秋の調」
〔五十八〕
 「秋の調」
〔五十九〕
 「秋の調」
〔六十〕
 「秋の調」
〔六十一〕
 「秋の調」
〔六十二〕
 「秋の調」
〔六十三〕
 「秋の調」
〔六十四〕
 「秋の調」
〔六十五〕
 「秋の調」
〔六十六〕
 「秋の調」
〔六十七〕
 「秋の調」
〔六十八〕
 「秋の調」
〔六十九〕
 「秋の調」
〔七十〕
 「秋の調」
〔七十一〕
 「秋の調」
〔七十二〕
 「秋の調」
〔七十三〕
 「秋の調」
〔七十四〕
 「秋の調」
〔七十五〕
 「秋の調」
〔七十六〕
 「秋の調」
〔七十七〕
 「秋の調」
〔七十八〕
 「秋の調」
〔七十九〕
 「秋の調」
〔八十〕
 「秋の調」
〔八十一〕
 「秋の調」
〔八十二〕
 「秋の調」
〔八十三〕
 「秋の調」
〔八十四〕
 「秋の調」
〔八十五〕
 「秋の調」
〔八十六〕
 「秋の調」
〔八十七〕
 「秋の調」
〔八十八〕
 「秋の調」
〔八十九〕
 「秋の調」
〔九十〕
 「秋の調」
〔九十一〕
 「秋の調」
〔九十二〕
 「秋の調」
〔九十三〕
 「秋の調」
〔九十四〕
 「秋の調」
〔九十五〕
 「秋の調」
〔九十六〕
 「秋の調」
〔九十七〕
 「秋の調」
〔九十八〕
 「秋の調」
〔九十九〕
 「秋の調」
〔一百〕

書名・人名・事項索引

| | | | |
|------------------------------------|--|----------------|--------------------|
| 「あぐら日記」 | (14) 丸・三〇 | 「あさかり」 | (19) 三三 |
| 亞溪 | (3) 三三 | 「芦間小屋」 | (19) 三九 |
| 阿圭子→凡光 | | 「網代笠」 | (5) 三六 |
| 「明鳥」(1) 鳥雀(3) (13) 一〇・一五〇・三八(10) 八 | (12) 七(10) 六 | 「蘆分船」(道治) | (10) 三七 |
| 「あけ鶴」(明鳥) | (8) 二六 | 「蘆分船」(俳諧) (白鶴) | (10) 三七 |
| 揚句の作法 | (10) 二四 | 「蘆分船」(不角) | (3) 三一(4) 五六・三六 |
| 「明の鳥」 | (10) 二四 | 阿誰 | (13) 六七・一〇一 |
| 「明の蓮」 | (13) 六・一三 | 「飛鳥川」(流男) | (1) 三六 |
| 「曙庵句集」 | (10) 四三 | 「飛鳥山」 | (15) 三・六 |
| 「あけばの草舟」→「紫曉春帖」 | (9) 五七(9) 二二・九 | 梓(俳諧) | (16) 三四(19) 九 |
| 「朱紫」 | (1) 三三 | 「梓神子」(俳諧) | (15) 三 |
| 「頬懸鏡」(落斬) | (9) 二六 | 「翌檜」(俳諧) | (10) 三六 |
| 「あこめ垣」 | (9) 二六 | 「あすのぼうく」 | (10) 三六 |
| 「あさひなかたき論」 | (1) 三三 | 「吾妻男仙伝枕」 | (1) 三六 |
| 「あさいなしわたり」 | (1) 三三 | 「阿都満珂比」(景遊勝覧) | (10) 三三 |
| 浅井了意 | (1) 三九・三五・一六・一七・(17) 一一・ (四六・六四・二五)(11) | 「吾妻掲」 | (3) 四・九・五・三五 |
| 「朝戎」(俳諧) | (10) 二六 | 「吾妻からげ」(俳諧) | (14) 六三(19) 六六 |
| 「朝起集」 | (10) 二六 | 「あづまからげ」(俳諧) | (15) 三七 |
| 「浅香市集」 | (10) 二七 | 「吾嬬争譜」 | (1) 三六 |
| 「朝顔」 | (4) 三三・三五 | 「東路のつと」 | (2) 一五 |
| 「朝顔集」 | (10) 二三 | 「東千句」(俳諧) | (5) 三四(19) 六六 |
| 「あさがほ集」 | (10) 二六 | 「吾妻錦」 | (14) 三七 |
| 「浅香山」(練石) | (10) 二七 | 「東日記」(俳諧) | (1) 三六(5) 五六・五五(2) |
| 「浅香山」(布石) | (10) 二七 | 「あづま日記」 | (10) 三五・一七・三五 |
| 書名の丸家→貞嶼 | (10) 二七 | | (10) 三六 |

| | |
|-----------------|----------------------|
| 「東には」 | 「あなたれし」 |
| 「東乃記」 | 「あめのはし」 |
| 「東風流」 | 「雨華」 |
| 「吾妻舞」 | 「雨の日数」（俳諧） |
| 「あづまめぐり」 | 「天橋立の図」 |
| 「あづま物語」 | 「天橋立図賛」 |
| 「吾妻問答」〔角田川〕 | 「あまのこのすさび」（時軒紀行） |
| 「東六鳳」 | 「天橋立の図」 |
| 「蛙井集」 | 「雨夜三益機嫌」 |
| 「あぜ道」 | 「雨夜集」 |
| 「あさる」 | 「雨夜談抄」 |
| 蛙足 | 亞満 |
| 「遊び初」→「正徳六年歳旦帳」 | 「あみたかさ」 |
| 「安宅高館」 | 「あみた笠」（文鳥） |
| 「安達太良根」 | 「あみだ笠」（和水） |
| 「あだち草紙」 | 「阿弥陀かんきん抄」 |
| 「あだ物語」 | 「あみだ裸物語」 |
| 新しみ | 阿弥陀本地（藤原吉次正本） |
| 「あつかひ草」 | 阿弥陀本地（藤原吉次正本） |
| 「あつた後哥仙」 | 阿弥陀本地（藤原信勝正本） |
| 「熱田三誦懸」 | 雨聲 |
| 「熱田二千句」〔俳諧集二千句〕 | 江鮎子 |
| 「熱田万句発句帳」 | 「雨の落葉」 |
| 「安津美山集」 | 「雨の集」 |
| 「あとのともし」 | 「雨の月」 |
| | |
| | 「あなたれし」→「新增大筑波集」 |
| | 「油みがき」 |
| | 「あまが家」（俳諧） |
| | 「あまのこのすさび」（時軒紀行） |
| | 綾足→涼袋 |
| | 綾錦 |
| | 「あやにしき」 |
| | 綾錦後編 |
| | 綾錦 |
| | 綾錦→論戰 |
| | 綾巻 破邪顕正并返答兩書 評判」（俳諧） |
| | 「脚結抄」 |
| | 「鮎汲」 |
| | 新井白石・桐陰 |
| | 「荒小田」 |
| | 荒木素白 |
| | 荒木田麗女 |
| | ——の生い立ち |
| | ——の作品 |
| | 「新玉集」 |
| | 「安良智山」 |
| | 「曠野」 |
| | 「安良智山」 |
| | 「雨の月」 |
| | 「雨の月」 |

書名・人名・事項索引

- 「曠野菊集」(13) (14) (15)
 「曠野後集」(12) 三・一卷
 「あらむつかし」(説話 永代詔返答)

 「あれれ空」(14) 四・四四
 「在岡逸士伝」(10) 三七
 「在岡昔物語」(10) 三六
 「在し世語」(10) 三五
 「あり塚」(10) 三五
 「ありそ海」(4) 三三 (10) 二六 (12) 七〇・一五
 「(10) 二六・六・十七・二七
 「有磯海・砥並山」(12) 一六
 「ありなし草」(10) 六
 「ありのすさみ」(4) 三五 (10) 七
 「有の儘」(10) 六
 「有の儘」(4) 三一 (6) 三六
 「ありのまゝ」(10) 一六・三三
 「見通鄙戯場」(10) 六
 「有馬籠」(10) 二四
 「在原文庫」(詩歌連俳)
 「歩荒神」(4) 二一・四二 (10) 三三
 「歩荒神追加」(4) 二一 (10) 三三
 「あるひ」(10) 三六
 「淡路島」(10) 二九 (10) 五

 「吾恥集」(10) 五三・三九
 「津津原」(5) 三三
 「栗津文庫」(10) 九
 「愛波勢鏡」(10) 七七
 「淡ゆき」(10) 三八・一九
 「安永大筑波」(10) 三七
 「安永四乙未歲旦帳」(10) 七
 「安永十辛丑感旦」(10) 一〇
 「行脚文集」(説話)
 「行脚戻」(説話)
 「安穴」(中島棕毫)
 安月堂→不局
 「安居鐘」(10) 三六
 安士
 安信
 安貞
 安静〔似空軒〕(10) 二九
 「案内者」(10) 二三 (10) 一〇

 「い」(10) 二九

 「家の榮」(4) 三七
 「以恵の沙嬉」(10) 一九
 「庵の大集」(10) 二九
 「庵のかたみ」(10) 一〇
 「庵の記」(10) 二九
 為角
 「伊賀美録」(10) 六三
 「伊賀餓別」(10) 二九
 雷太郎強惡物語〈浅草觀音利益仇討〉(10) 二九・三三
 「紙薦」(10) 二九
 「いかりつな」(10) 二九
 「生百物」(四季禽獸)
 「生鱈」(説話)
 「生靈魂」(5) 一六
 「いくくすり」(10) 二九 (10) 三九
 「いくくしみつ」(4) 八
 「生玉奉納 笠壺万句集」(10) 二九
 「生玉万句」(10) 二九 (5) 一九・三八
 「幾人水主」(10) 二九
 「為愚癡物語」(10) 二九

| | |
|----------------------|------------------------|
| 「生野・夜話」 | ④三四〇四五六 |
| 「池田催馬楽」 | ⑬五 |
| 「池田屋長左衛門・麦水」 | ①四五九 |
| 「いけどり夜うち」 | ⑩三七 |
| 「池のむかし」 | ⑨三六 |
| 「池の昔」 | ⑦三七六 |
| 「池の藻屑」 | ⑯三七六 |
| 以元 | ⑤五 |
| 「渭江話」 | ③四〇八五七・二九〇四〇五二・二九〇四〇一〇 |
| 「己巳巳千句」 | ⑨三 |
| 「生駒山人詩集」 | ⑭三〇一 |
| 「生駒堂」〈俳諧〉 | ④五六五・六六 |
| 意朔 | 以春 |
| 「既望」〈はいかゐ〉 | ⑯三〇〇 |
| 「十六夜集」 | ⑩三四三 |
| 「鈔舟」 | ⑯三〇三 |
| 「いさなとり」 | ⑨一五 |
| 「あさらえ草」 | ⑩一五 |
| 伊山 | ⑨一五 |
| 以之「千鳥庵」 | ⑨一五 |
| 倚之 | ⑥七八 |
| 石川流宣 | ④三四一 |
| 「石車」 | ④三四一 |
| 「礎」〈辭誦〉 | ⑯三七七 |
| 「いせあし鼎」 | ⑩三〇〇 |
| 「いしすゑ抄」〈俳諧秘書〉 | ④三四〇四五七 |
| 「医事叢談全編」 | ⑬五 |
| 「石豈」 | ③四〇五三五二 |
| 「石などり」 | ⑨三四〇五二 |
| 「石の声」 | ⑤二四一・二四二・二四二 |
| 「石の月」 | ⑬二四〇・二四二・二四二 |
| 「意新能日可麗」 | ③三四三 |
| 「石ばし山」 | ①四五六 |
| 「石橋山合戦」〈會我三日目〉 | ①四五九 |
| 「石橋山七きおち」 | ⑨三六 |
| 維舟→重頼 | 慰少 |
| 「碑しう」 | ⑨三四一 |
| 「石山寺入相鑑」 | ①三三三 |
| 「伊勢さくら」〈俳諧〉 | ⑨三六 |
| 「伊勢新百韻」 | ⑥一九〇三〇 |
| 「伊勢大神宮法樂宗因宗春兩吟百韻」 | ⑥一九〇三〇 |
| 「いせのはなし」〈俳諧〉 | ⑤三四〇五二 |
| 「伊勢長帳」 | ⑥一九〇三〇 |
| 伊勢風 | 伊勢 |
| 「伊勢宮管」 | ③二九・二九四・二九三 |
| 「伊勢物語考異」 | ⑤三四六 |
| 「伊勢物好」 | ⑩三一 |
| 「伊勢山田俳諧集」 | ⑩三〇 |
| 以仙→益翁 | 惟然 |
| 葦吹「馬董子・鳳凰井・北海陳人・有底窓」 | ⑩三四一 |
| 「伊豆走湯俳諧元千句」 | ⑨三四〇五二 |
| 「出雲縫」 | ⑤四 |
| 意専 | 惟然 |
| 「いづみがじやう」 | ③二八・二九・二九・二九 |
| 和泉州「俳諧」→前句附集 | 二九 |
| 「いせあし鼎」 | 二九 |
| 「惟然坊句集」 | 二九 |

書名・人名・事項索引

| | | | | | |
|--------------|-----------------|----------------|----------------------|---------------------------------|----------------------------|
| 磯貝捨若 | (17)三四〇(18)五三 | 「山」 | (12)六 | 「一夜庵建立縁起」 | (2)五〇(1)五〇(1)一・五九 |
| 「磯清水」 | (16)五六 | 「事庵百古」 | 一公成 | 「一夜庵再興贊」 | (5)五九 |
| 「いそづたひ」 | (15)五七 | 「字笠」 | | 「一夜庵之記」 | (2)五〇 |
| 「磯千鳥」 | (15)五九 | 「一時軒→惟中」 | | 「一夜庵筆海」 | (5)五九 |
| 「五十能可美再編」 | (15)五九 | 「時軒隨筆」 | | 「一夜四歌仙」 | (1)六七 |
| 「磯の波」〈俳諧〉 | (16)一〇八 | 「時集」 | | 「一夜船」 | (13)三〇(1)五・一〇九・三五七 |
| 「一夕俳談」 | (4)一〇八・一〇八 | 「時隨筆」 | | 「一夜松」 | (4)八七(10)五 |
| | (16)一〇九 | 「一字般若」〈俳諧〉 | | 「一崩道人・北水浪士」 | (1)六七 |
| | (16)一〇九 | 「一疊庵→燭堂」 | | 「惟中」「一時軒・一崩道人・北水浪士」 | (3)六六(4)四・二八・四九・一三三・二六・三三五 |
| 「伊曾保物語」 | (1)三七(8)合 | 「一疊庵合戦」 | 甲州 | 「(3)五三・一五三・一六一・一七一・一九一・一〇一・一〇九・ | |
| 「異素六帖」〈北州〉 | (1)三七(8)合 | 「一条兼良」 | | (5)五三・一五三・一六一・一七一・一九一・一〇一・一〇九・ | |
| 「為大」 | (4)三四 | 「一字露顕」 | | (3)三三・三五(6)三・(10)一六 | |
| 「潮米集」 | (5)三五(10)五 | 「いちだるぎ」 | | | |
| 「伊丹発句合」 | (10)三四〇・三四 | 「一度」 | | | |
| 「宇〔露柱庵〕」 | (5)三四〇(10)一〇〇 | 「一日行脚」 | | | |
| 「円窓→柳居」 | (5)三五 | 「市の庵」 | | | |
| 「鷗」 | (5)三五 | 「一木戸」 | | | |
| 「翁」 | (14)三一 | 「(1)の谷逆落」 | | | |
| 「翁四哲集」 | (2)二〇(5) | 「(1)のもり」(来風山人) | | | |
| 「桜井発句集」 | (16)一六 | 「(1)のもの」(雜俳集) | | | |
| 「一音〔養菊堂〕」 | (5)三五(2)二六(5)三五 | 「(1)番鶴」 | | | |
| 「移竹〔烟舟亭・来川〕」 | (3)三五(3)二六(4)四 | 「(1)部詩集」 | | | |
| 「具〔夢南〕」 | (16)一六 | 「(1)の俳論」 | | | |
| 「覆盆子文庫」 | (3)三五・一五(4)四 | 「(1)葉集」(俳諧) | (1)五〇(6)八〇(9)三〇(16)六 | | |
| 「言芳談」 | (16)一六・一九 | 「(1)陽集」 | | | |
| 「一座の華」 | (16)一七 | 「(1)陽井→素外」 | | | |
| 「市女笠」 | (16)一九 | 「(1)漁〔釣月堂・松窓〕」 | | | |
| | (3)三〇(6)五七 | | | | |

| | | | |
|-------------------------|-----------|--------------------------|-------|
| 「一礼 | ④五六・八・二〇四 | 一水 | ③三四 |
| 「一樓賦」 | ②一一 | ——の句風 | ④二 |
| 「芦葦風子 | ④九 | ——の流行 | ④三 |
| 「一驚集」 | ⑩一七 | 伊勢冠附の—— | ④六 |
| 「いちろうしう」 | ⑪一五 | 伊勢の—— | ⑤四五 |
| 「一好集」 | ⑩一五 | 享保時代の—— | ⑤四五 |
| 「一好鳥」 | ⑫一六・六 | 「句立の弁」 | ④二 |
| 「一碗光」 | ⑬一六 | 「五組糸」 | ④二 |
| 「逸淵」 <small>可布庵</small> | ⑭一四 | 「句連歌」 | ③二二 |
| 「逸淵堀句集」 | ⑮一七 | 「茶」 | ③一一・四 |
| 「いつを昔」 | ⑯一八・七 | ——の俳文 | ④三九 |
| 「一角仙人四季桜」 | ⑰一九 | 「茶翁俳諧諸文集」 | ⑥一五 |
| 「夏百歩」 | ⑱一九 | 「茶忌」 | ⑨三六 |
| 「一貫」 | ⑲一九 | 「茶句集」→「茶堀句集」 | ⑪三五 |
| 「逸丸」 | ⑳一九 | 「茶百話」 <small>俳諧</small> | ④三四 |
| 「一串抄」 <small>俳諧</small> | ㉑一九 | 「茶発句集」 <small>俳諧</small> | ④三四 |
| 「一騎討」 | ㉒一九 | 「一傘→淡々」 | ⑤六 |
| 「一袈」 | ㉓一九 | 「一子」 | ⑥一五 |
| 「一休関東咄」 | ㉔一九 | 「一止人→風之」 | ④二 |
| 「一休ばなし」 | ㉕一九 | 「一枝筆」 <small>俳諧</small> | ⑤二九 |
| 式、鳩林→午寂 | ㉖一九 | 「宿客→祇空」 | ⑥二九 |
| 「一興」 | ㉗一九 | 一笑 | ④二 |
| 「一句切」 | ㉘一九 | 一松 | ②六 |
| 「伊都岐島八景」 | ㉙一九 | 一晶 | ⑤二九 |
| 「嚴島奉納雨吟連歌」 | ㉚一九 | 一醉 | ⑥二九 |